

朝鮮通信使が運んだ愛と感動

海を越えて響き合うふたつの愛。

わらび座
ミュージカル

脚本・演出 ジェームス三木

カムサハムニダ (ありがとう)
ジェームス三木が現代におくる
信の人間ドラマ!

はな 제비

「題字:ジェームス三木」

関西から

文化力

POWER OF CULTURE

平成15年
11月24日(月・祝) ◆14:00開演
◆18:30開演
京都芸術劇場「春秋座」



狩野常信「朝鮮通信使行列絵巻」(部分)佐賀県立名護屋城博物館蔵

全席指定
4,500円
(当日券5,000円)

—チケット発売場所—
京都芸術劇場企画運営室 ☎075-791-8240
チケットぴあ ☎0570-02-9966(PCODE 412-808)
わらび座関西事務所 ☎06-6864-9600
ローソンチケット ☎0570-00-9505(LCODE 54772)

●問い合わせ先/わらび座関西事務所

【主催】わらび座ミュージカル「つばめ」京都公演実行委員会、京都新聞社、京都造形芸術大学
〈顧問:上田正昭京都大学名誉教授、芳賀 徹京都造形芸術大学学長、水谷幸正佛教学大学名誉教授、森 清範清水寺貴主、実行委員長:仲尾 宏京都造形芸術大学客員教授〉
〈参与:金 有作(在日本大韓民国民団京都府地方本部団長)、金 成洛(在日本朝鮮人総聯合会京都府本部委員長)〉

【後援】外務省、国際交流基金、朝鮮通信使縁地連絡協議会、京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、(財)京都府国際交流センター、(財)京都市国際交流協会



京都芸術劇場「春秋座」

■ JR「京都」駅 / 京阪「三条」駅 / 阪急「河原町」駅から(京都駅からは約50分) → 京都市バス5番「岩倉」行き乗車「上終町・京都造形芸大前」下車
■ 市営地下鉄「北大路」駅から(約15分) → 京都市バス204循環に乗車「上終町・京都造形芸大前」下車
■ 叡山電鉄「茶山」駅から→徒歩10分
※駐車場はございません。車での来場は御慮下さい。

ミュージカル

つばめ

제 チェビ 日

国と国との 争いなくば
 かかる嘆きは あるまいものを
 海よ荒れるな 星よ輝け
 恋のむくろに いのち灯して
 望みほのぼの つばめは帰る
 (終幕の合唱より)

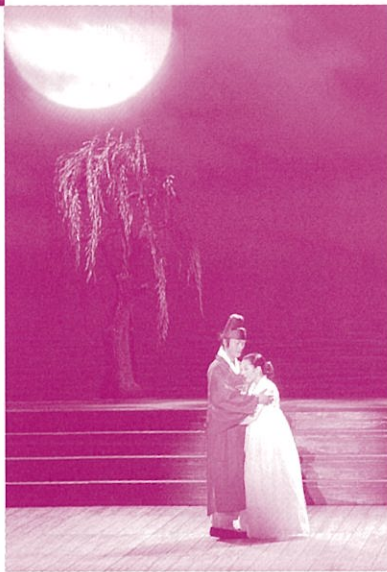


「つばめ」제 日 (チェビ)

つが
つばめは番いの鳥です。

1年を通して共に行動し、翌春には相たずさえて前年の古巣に帰ってきます。また、渡り鳥として自由に行き交い、国と国を架けます。

一途な愛情、故郷への深い想い…、主人公の「お燕」の心を重ねています。



Japan Korea Cultural exchange

メッセージ

ジェームス三木

豊臣秀吉によって、国土を踏みにじられた朝鮮国は、秀吉の死後に天下を掌握した徳川家康の国交回復要請に答えて、五百人余の文化使節団(朝鮮通信使)を、日本国に派遣した。『文』を以って『武』に酬むくいたのである。

私はわらび座と協力して、時代の風ほんろうに運命を翻弄された人々の姿を、浮き彫りにしたい。朝鮮通信使の心をわが心とし『文』を以って『武』をししのぎたい。



も・の・が・た・り

一幕100分



お燕役 椿千代

徳川の世となって間もない頃、日本が唯一正式な「將軍の外交」を結んでいた朝鮮国から、友好のあかしとして文化使節団(朝鮮通信使)がやってくる。その一人、李慶植りけいしよくは饗応の席で思いがけなく十年前に水死したはずの妻に再会する。しかしお燕えんと呼ばれる春燕しゅんえんはすでに彦根藩の武士・水島善蔵との間に子を成す身となっていた。

慶植と善蔵、二つの愛と二つの国のはざまで苦悩するお燕。遠いふるさとを思い、海辺で舞い、そして…。

STAFF

脚本・作詞・演出	ジェームス三木
作曲・音楽監督	飯島 優
振 付	森田 守恒
韓 国 振 付	鄭 明子(韓国舞踊芸術院)
美 術	松野 潤
照 明	杉浦 弘行
衣 装	工藤 昭子
音 響	栗城 恭子
小 道 具	平野 忍
か つ ら	八木かつら
舞 踊 指 導	鄭 明子
	安達 真理
殺 陣 指 導	菊地竜志(菊地剣友会)
サムルノリ指導	サムルノリ神明 SINMYON
時 代 考 証	茶谷 十六
音 楽 協 力	上田 亨
	尹 文淑(韓国国立楽院)
演 出 助 手	仁 しづか
舞 台 監 督	大川 裕
美 術 製 作	佐藤 哲夫(アトリエ・フォルム)
韓 国 衣 装 製 作	이 남복의상 Lee Nam Bok Boutique

わらび座

全国公演営業部 〒014-1192 秋田県仙北郡田沢湖町卒田字早稲田430
TEL 0187-44-3316 FAX 0187-44-3318 ©インターネットでのご案内 <http://www.warabi.jp/>

お問合せ ●北海道事務所 011-783-9998 ●北東北事務所 0187-44-3860 ●南東北事務所 022-371-5354 ●関東事務所 048-286-8730
●中部事務所 052-936-5236 ●関西事務所 06-6864-9600 ●九州事務所 092-711-0194